

この町の“これから”を考える。

いちかわ

議会だより



3月定例会



市川町
イメージキャラクター
ひまりん

平成31年度予算	2
3月定例会 審査結果	7
いちかわ委員会ニュース	10
いちかわのここが聞きたい!	16
政治家の寄附行為禁止について	23



第3回 市川町ゴルフまつり
2019年4月20日開催



ゴルフまつりPR大使

予算重点事業

<p>健康・子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 造血幹細胞移植者再予防接種費助成事業……………52万円 新 低所得者・子育て世帯プレミアム付き商品券事業……………2,356万円 新 乳幼児・子ども医療費助成事業(中学校3年生まで無料化)……………4,019万円 新 高校生等医療費助成事業……………39万円 (令和元年7月診療分から入院のみ高校3年生まで無料化) 予防接種・がん検診事業……………2,771万円 	<p>安心安全(防災・消防他)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 防災ハザードマップ作成事業……………350万円 新 消防施設整備事業……………1,913万円 防犯灯・防犯カメラ設置補助事業……………297万円 	<p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 学校教育施設等整備事業……………1,230万円 新 小・中学校施設長寿命化計画策定事業……………750万円 新 小・中学校教育ネットワークシステム等整備事業……………2,733万円 新 倉谷古墳改修事業……………690万円 新 スポーツセンター体育館改修事業……………1,033万円 	<p>環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 浄化槽放流水路改修事業……………700万円 道路・橋梁の改良舗装修繕……………2億3,163万円 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 庁舎駐車場等改修事業……………600万円 新 川辺保育所外解体事業……………6,010万円 新 甘地幼稚園外跡地舗装事業……………1,240万円 新 ひよっこ地域創生交付金事業……………700万円 ① 駅施設等環境整備事業……………700万円 ② まちの魅力発信事業……………1,750万円 ③ 「ゴルフファン発祥の地」拠点整備事業……………1,300万円 ④ ゴルフファンPRイベント助成事業……………300万円
---	---	--	--	--

この町がいい。 この町に住みたい。 「いちかわ」へ

予算編成にあたって、厳しい財政状況の中で限られた財源を有効に活用するため、行財政改革に取り組み、『市川町まち・ひと・しごと創生総合戦略』に基づく地方創生事業に重点が置かれました。防災・減災対策、下水道、道路・橋梁の補修、教育環境の整備など推進されます。この町がいい。この町に住みたい。「いちかわ」の実現に向けた予算編成となりました。

平成31年度予算総額

105億9,986万円

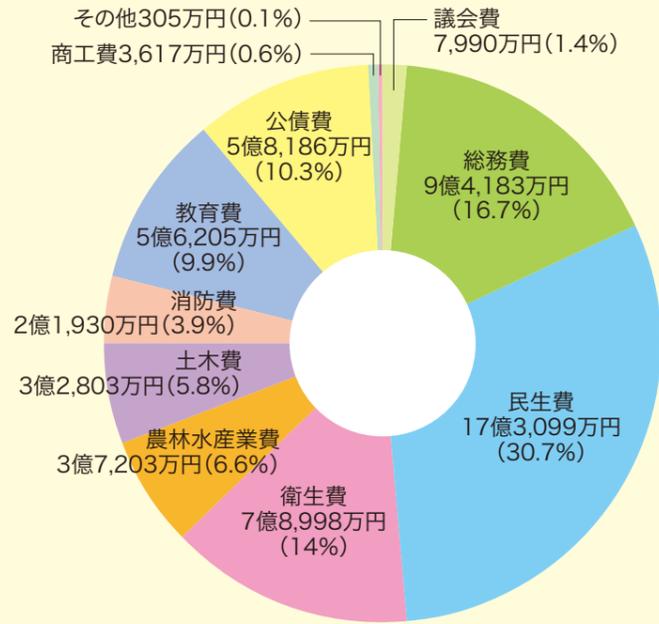


子ども会審判講習会



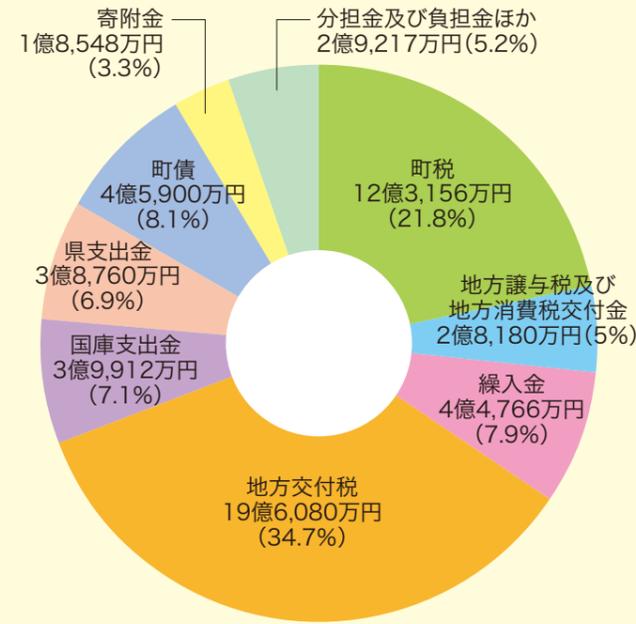
倉谷古墳(奥区)

歳出 56億4,519万円



区分	対前年度比	主なもの
議会費	1.1	議会活動に要する経費
総務費	△2.6	人事、企画、財政や他部門に分類されない事業
民生費	△30.6	障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護、国民年金などの事業
衛生費	6.1	母子保健、廃棄物処理、公害対策などの事業
農林水産業費	11.1	農業・林業・水産業振興の事業
商工費	3.3	商工業振興、観光振興などの事業
土木費	4.8	道路整備などの事業
消防費	10.9	消防、防災事業など
教育費	△8.4	学校教育、生涯学習スポーツ振興などの事業
公債費	1.6	町債(町の借金)を返済する元利償還金(元金と利子)と一時的な借入をした場合の支払利息

歳入 56億4,519万円



区分	対前年度比	説明
町税	△0.6	町民税・固定資産税等
地方譲与税及び地方消費税交付金	5.7	地方消費税交付金等
繰入金	15.5	ふるさと基金、財政基金等から
地方交付税	0.1	地方公共団体の財源不足や団体間の財政不均衡を是正し、その事務を遂行できるように国から地方公共団体へ交付されるお金
国庫支出金	△27.2	国が地方公共団体に対して、特定の事業を促進する目的で用途を指定して交付するお金
県支出金	3.6	県が用途を指定して交付するお金
町債	△58.0	町の借金
寄附金	△8.4	ふるさと納税等
分担金及び負担金ほか	2.8	受益者負担金等

委員の指摘

歳入

中長期的にみると、人口減少により、税収、地方交付税など、歳入の減少が見込まれる。臨時的ではあるが、ふるさと市川応援寄付金が貴重な財源になっている。ふるさと納税制度も新たな段階を迎えるが、さらにPRし自主財源の確保を要望。

歳出

ひょうご地域創生交付金事業については(駅施設等環境整備事業、まちの魅力発信事業、「ゴルフアイアン発祥の地」拠点整備事業、ゴルフアイアンPRイベント助成事業)4事業の着実な実施を。

民生費

乳幼児・子ども医療の助成事業において平成28年度より所得制限が撤廃されている。今後も医療費の動向に注視を。各種の子育て世代の負担軽減策については、財源を確保し継続実施を。後期高齢者人間ドック助成事業に

一般会計

56億4,519万円
(7億1,013万円減)

歳入の主なもの

- 町税 12億3,156万円
- 地方交付税 19億6,080万円
- 国庫支出金 3億9,912万円
- 財政調整基金等繰入金 (貯金の取り崩し) 2億4,152万円
- 町債(借金) 4億5,900万円

審査の主眼

- 財政の立て直しがなされているか。
- 厳しい財政状況のなかで、社会資本の整備・地域福祉の充実・住民要望に対応した内容か。
- 議会が指摘した事項が予算に反映されているか。

平成31年度市川町予算(一般・特別・事業会計)8会計を審査方針に基づき4日間にわたり審査。

衛生費

ついでに、対象者に周知を。各種健診の住民への周知徹底と受診率の向上を。浄化槽放流水路改修事業、浄化槽設置水路整備補助事業については、地元要望等を聞き、適正な予算執行を。

農林水産業費

現地精査、地元協議を十分に行い年度内執行に努力を。

土木費

● 道路改修 本町の生活道路は改修箇所が多く、今後も計画的な予算措置を。

人口減対策

● 空き家活用支援事業、若者定住促進住宅取得奨励金事業等はPRを積極的に行い、人口減対策に取り組みよう要望。

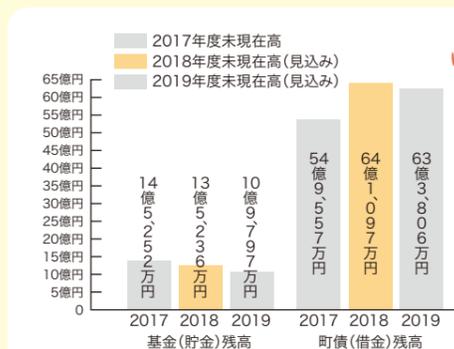
消防費

● 消防施設等整備 消防用ホース更新事業等、事業の周知を行い、各区の消防施設等の整備を。

歳出の主なもの

- 議会費 7,990万円
- 総務費 9億4,183万円
- 民生費 17億3,099万円
- 衛生費 7億8,998万円
- 農林水産業費 3億7,203万円
- 商工費 3億6,177万円
- 土木費 3億2,803万円
- 消防費 2億1,930万円
- 教育費 5億6,205万円
- 公債費(借金の返済金) 5億8,186万円

貯金と借金は?



3月定例会 審査結果

すべての議案、全会一致で可決!!

議案名	
条例	<ul style="list-style-type: none"> 市川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について 市川町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について 市川町水道事業給水条例の一部を改正する条例について 市川町生活排水処理施設の設置及び管理に関する条例及び市川町下水道条例の一部を改正する条例について
30年度予算	<ul style="list-style-type: none"> 市川町一般会計補正予算（第4号） 市川町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 市川町介護保険事業特別会計補正予算（第3号） 市川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 市川町水道事業会計補正予算（第2号）
31年度予算	<ul style="list-style-type: none"> 市川町一般会計予算 市川町学校給食特別会計予算 市川町国民健康保険特別会計予算 市川町介護保険事業特別会計予算 市川町後期高齢者医療特別会計予算 市川町下水道事業会計予算 市川町土地開発事業会計予算
その他	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県市町村職員退職手当組合理約の変更について 兵庫県町議会議員公務災害補償組合理約の変更について



次回定例会の日程（予定）

町議会で、予算・条例をはじめ行政に対する一般質問など、住み良い市川町をめざして審議しています。この審議の様子を住民のみならず傍聴していただくための傍聴席を本会議では26席設けています。議会がどのように運営されているか、ぜひ傍聴にお越しください。お待ちしております。

日時	予定している主な内容
6月 4日(火) 9:30から	議案の提案理由等の説明
6月11日(火) 9:30から	一般質問
6月21日(金) 9:30から	議案に対する質疑・討論・表決

特別会計

学校給食

1億4、163万円



- 施設の老朽化に伴う広域化等今後の対応を検討されたい。
- 地域で採れる旬な野菜を生かしたメニューや季節の行事食、郷土料理を計画されている。今後も園児・児童生徒の健全育成のため安全で、栄養豊かな献立を。
- 給食費の収納率向上を。

国民健康保険

13億7、657万円



- 運営方法が改正され、国民健康保険制度の安定化を図り、安定的な財政運営と効率的な事業の確保を。
- 高齢化が年々進み、医療費の増加は避けられない。予防医療と健康保持対策を進め、特定健診の受診率向上を。
- 人間ドック助成事業の周知徹底を。

介護保険事業

13億9、248万円



- 給付費抑制のため、今後も介護予防対策の充実を。
- 保険料未収金の徴収努力を。

後期高齢者医療

2億873万円

- 保険料の確実な徴収事務の執行を。

事業会計

下水道事業



- 接続戸数 9処理区合計 1、450戸
- 農集 590戸
- コミュニティプラント 450戸
- 公共下水 410戸
- 中部浄化センターは、供用開始の地域が広がっており、つなぎこみ率向上を。
- 町全体の生活排水処理計画の早期実現を。

水道事業



- 給水戸数 5、060戸
- 町内 18、600戸
- 加西市 1、537、200m³
- 年間総給水量 1日平均給水量 町内 3、367m³ 加西市 4、200m³

- 長期的な水道事業計画のもと、水道事業審議会で十分議論され、さらなる安定的な経営努力を。
- 加西市への用水供給事業においては、長期安定化を。
- 漏水調査により有収率の向上を。
- 使用料の収納率を高める努力を。

土地開発事業

- 千原・東川辺住宅用地の早期完売の努力を。
- 今後も継続して事業の推進を。
- 以上8会計すべての予算を「全会一致」で原案通り可決した。

審査を終えて

「市川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく町づくり予算が多く計上されている。

地方創生関連予算を始め、全予算が、4月1日から新たな体制のもとで、適正にまた、年度内に執行できるよう、町長をはじめ、職員一丸となつて業務執行にあたるよう、強く要望する。

〔予算特別委員会〕

- 委員長 高橋 昭二
- 副委員長 山本 芳樹
- 委員 本間 信夫
- 中野 史子
- 内藤 亘
- 中岡 輝昭

条例制定・改正

市川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正

時間外勤務の上限設定へ

働き方改革を推進するため関係法律の整備に関する法律において、労働基準法の一部が改正されたことを受け、人事院規則が改正され、平成31年4月1日から施行されるため。

市川町道路占用料徴収条例の一部を改正

税率改正に対応

社会保障の安定財源の確保等を図る税制で、令和元年10月1日から消費税率及び地方消費税を合わせた税率が10%に引き上げられるため。

市川町水道事業給水条例の一部を改正

税率改正に対応

社会保障の安定財源の確保等を図る税制で、令和元年10月1日から消費税率及び地方消費税を合わせた税率が10%に引き上げられるため。

経過措置として、本条例の施行日である令和元年10月1日以前から継続して使用している者に係る料金であつて、施行日である令和元年10月1日から同年10月31日までに料金の額が確定するものに係る率は、従前の8%が適用される。



市川町生活排水処理施設の設置及び管理に関する条例及び市川町下水道条例の一部を改正

税率改正に対応

令和元年10月1日から消費税率及び地方消費税を合わせた税率が10%に引き上げられるため。

経過措置として、本条例の施行日である令和元年10月1日以前から継続して使用している者に係る料金であつて、施行日である令和元年10月1日から同年10月31日までに料金の額が確定するものに係る率は、従前の8%が適用される。

補正予算

一般会計

総額2億1,005万7千円の減

歳入

●町税 90万円の増
決算見込により。

●地方譲与税 365万円の減
決算見込により。

●配当割交付金 250万円の増
決算見込により。

●株式等譲渡所得割交付金 450万円の増
決算見込により。

●地方消費税交付金 620万円の増
決算見込により。

●自動車取得交付金 510万円の減
決算見込により。

●地方交付税 299万4千円の増
国の2次補正により。

●国庫支出金 690万3千円の減

歳出

後期高齢者医療広域連合納付金の決算見込による増。

水道事業会計

収益的収入及び支出

収入

●減価償却費 1,27万3千円減。

●固定資産除却費 210万円増。

支出

●賃金、修繕費、動力費、材料費等 1,240万円減。

●減価償却費 1,27万3千円減。

●固定資産除却費 210万円増。

●資本的支出 3,750万円の減

●工事請負費 3,700万円減。

●量水器取替費 50万円減。

児童手当負担金ほか。

県支出金

●1,559万4千円の減

●寄附金 1,229万1千円の増

基金

●ふるさと市川応援基金繰入金。

基金繰入金

●6,571万8千円の減

●財政調整基金繰入金。

町債

●1億4,020万円の減

●学校教育施設等整備事業債

●ほか。

歳出

総務費

●901万4千円の増

●ふるさと市川応援基金積立

●金、寄附金記念品代の増工事

●請負費の減額ほか。

民生費

●4,756万円の減

●特別会計繰出金、医療扶助

●費、賃金、児童手当扶助費の

●減と心身障害者扶助費の増

●額ほか。

衛生費

●3,914万円の減

●中播北部行政事務組合負担

●金、浄化槽設置補助金、妊婦

●健康健査助成金の減額ほか。

農林水産業費

●4,710万3千円の減

●県営事業負担金、林業費補助

●金の減額。

教育費

●7,355万8千円の減

●小学校・中学校空調設備設置

●事業費の減額ほか。

災害復旧費

●669万3千円の減

●災害復旧工事終了による減額。

公債費

●672万6千円の減

●町債償還元利金の減額により。

国民健康保険特別会計

決算見込による減

●7,594万9千円の減

●保険給付費の決算見込による

●減。糖尿病重症化予防指導事業

介護保険事業特別会計

決算見込による減

●4,379万円の減

●介護者機能強化推進交付金に

●ついては、平成30年度は実施せ

●ずに介護給付費準備基金に積

●み立てる。現時点での具体的

●な方策は決めておらず、近隣町

●とも連携のうえ検討。保険給付

●費の決算見込による減。

後期高齢者医療特別会計

決算見込による増

●340万1千円の増

歳入

●保険料は決算見込による特別

●徴収保険料現年度分の増額と

●普通徴収保険料現年度分およ

●び過年度分の減。